

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月22日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102914		
法人名	特定非営利活動法人グループホームしいのみ		
事業所名	グループホーム紫竹庵		
所在地	松山市山越2丁目11番35号 (電話) 089-922-7400		
管理者	河部 有希子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年9月2日	評価確定日	平成20年9月22日

【情報提供票より】 (平成20年8月21日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成14年12月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	6人
職員数	7人	常勤	5人, 非常勤 2人, 常勤換算 7.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		
(3)利用者の概要 (平成20年8月21日現在)			
利用者人数	6名	男性 0名	女性 6名
要介護1	0名	要介護2	0名
要介護3	5名	要介護4	0名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 79歳	最低 58歳	最高 96歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・なし	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>市社協で、職員は、認知症の事例について寸劇を披露された。事業所の見学等、市の職員の研修に協力された。 調査訪問時、2名の方が「通所介護」を利用されていた。ホームの利用者を散歩に誘われたり、優しく接しておられる姿がうかがえた。 協力医療機関の医師が毎日、利用者お一人ずつの往診に来られている。午前中に看護師の方が来られ、利用者個々の健康管理をされており、利用者は、直接、体調のことを相談されている。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・事業所は、今年2月に移転され、新しい土地で地域との関係を深める努力をされている。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価は、ミーティング時、職員全員で話し合い、管理者がまとめられた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・お隣の方や駐車場の管理者、町内会の会長の方や見守り隊の方等、地域の方も多く参加いただき、会議をすすめておられる。移転したこともあり、現在は、出席いただいた方に事業所についての説明を詳しくされたり、親睦を深めるような会議となっている。又、8月の会議は、「花火大会」を行い、近所の子供たちも集まった。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・毎月、ご家族にお手紙と写真を送っておられる。又、事業所のブログを作り、インターネットを通じて、日常の様子を広く伝えておられる。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・事業所は、今年2月に移転され、新しい土地で地域との関係を深める努力をされている。さらに、ゴミ置き場の掃除等を申し出られたり、又、事業所の前の道を掃除する等、近所の方と接する機会を作っておられる。</p>

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム紫竹庵

(ユニット名) 1ユニット

記入者(管理者)

氏名 河部 有希子

評価完了日 平成 20 年 8 月 20 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			移転した事もあり、地域に方々との交流を重視し利用者個々の生活を上げられるよう理念を作成した。		
			(外部評価)		
			「ゴゾゴゾの自由」の理念のもと、事業所では職員全員で行動指針を作成し、「地区行事を通じて地域の方達と交流する」ことを掲げて取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			職員全員で決めた理念は、入り口などに掲示し、この理念に基づいて利用者一人一人について実践できているかどうか話し合っている。		
			(外部評価)		
			職員は、「利用者が楽しく暮らせるよう努力する」ことを決め、理念を目指して取り組まれている。		事業所にとって大切な「理念」や「行動指針」の掲示方法について、工夫を検討されてみてほしい。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			地域の方々には推進会や日常の会話、家族には入所時や来訪時に説明し理解してもらえるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近所の方々とのあいさつをしたりゴミ捨て場の掃除へ行ったりコミュニケーションを取れる場を持つようにしている。		推進会で近所の子供たちを招いての花火大会などを予定している。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地区の運動会や清掃活動の参加をし交流するよう努めている。 (外部評価) 事業所は、今年2月に移転され、新しい土地で地域との関係を深める努力をされている。さらに、ゴミ置き場の掃除等を申し出られたり、又、事業所前の道を掃除する等、近所の方と接する機会を作っておられる。		移転し談話室が広がった事もあり、地区の人より談話室を貸して欲しいと要望があった。今後、地域交流も含め提供していき交流の機会を増やしていくよう努める。 さらに、事業所では今後「気軽に立ち寄ってもらえるような事業所」を目指していきたいと話しておられた。又、職員は、「認知症の事例」の寸劇を披露して、地域の方に認知症の理解を深めていただくことも検討されていた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 実習生・ボランティアの受け入れをし、地域より介護等の相談があれば快く対応している。		地域の方を対象とした認知症ケアについての勉強会を検討したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を実施する意義を職員全員が理解できてる。改善するところがあれば話し合い対応している。 (外部評価) 自己評価は、ミーティング時、職員全員で話し合い、管理者がまとめられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議で行った事への報告や評価、今後につなげていけるよう話し合いをしている。		
			(外部評価)		
			お隣の方や駐車場の管理者、町内会の会長の方や見守り隊の方等、地域の方も多く参加いただき、会議をすすめておられる。移転したこともあり、現在は、出席いただいた方に事業所についての説明を詳しくされたり、親睦を深めるような会議となっている。又、8月の会議は、「花火大会」を行い、近所の子供たちも集まった。		さらに、事業所では、会議がマンネリ化しないための工夫をしたいと考えておられる。又、出席者の方も勉強になるような内容の工夫も必要と考えておられた。出席者の方々も活発に意見が出せるよう、会議のすすめ方の工夫が期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市職員の研修を受け入れ、他、介護更新手続き等職員が市役所へ訪れたり、市職員が訪問してくることもある。		今後、研修やケアプラン研究会へ参加し交流を深めより良いサービスの質の向上に取り組みたい。
			(外部評価)		
			市社協で、職員は、認知症の事例について寸劇を披露された。事業所の見学等、市の職員の研修に協力された。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			今年はまだ勉強会を開催できていないが、学ぶ機会があれば研修していけるようにしたい。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			利用者さんの小さなことでも変化があれば、原因究明し、阻止できるよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約・解約する際は、契約書に分かりやすく示し、かつ十分に説明し理解、納得を得ている。		主治医について・入院した場合の居室確保についての説明
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者さんにも推進会に参加してもらい意見をもらっている。不満、苦情は本人の言葉でそのまま記録に残し職員間で話し合っている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時に状態報告、遠方の方や、緊急時にはすぐに連絡し報告している。 月一度の手紙や写真で暮らしぶりを報告している。		
			(外部評価) 毎月、ご家族にお手紙と写真を送っておられる。又、事業所のブログを作り、インターネットを通じて、日常の様子を広く伝えておられる。		さらに、ご家族が知りたい情報を定期的に知ることができるよう取り組みや、運営推進会議等、事業所全体で取り組んでいること等を知らせるような報告の工夫も、検討されてみてはどうだろうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 御家族には毎月請求書と一緒に手紙や写真を添えたり、アンケート等同封している。 面会時は必ず時間を作り意見を聞いている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご意見や要望を聞くようにされている。		さらに、ご家族にも事業所の取り組みにかかわっていただきながら、具体的な意見を出していただく等、さらに意見を引き出すための工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的に食事を開き、気兼ねなく意見の発言が出来る場を設けている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者さんの状態に応じて早出・遅出を作るなどして勤務の調整をしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) やむを得ず移動になる場合でも、頻繁に顔合わせが出来、馴染みの職員とのコミュニケーションが取れるようダメージのないよう配慮している。		
			(外部評価) 管理者は、職員の思いを聞くことに努めておられる。又、新しく入った職員には、利用者のことをよく見てかわかることの大切さを話しておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 勉強会へ行く機会を設け、参加している。事業所内でも勉強会をしている。		今後も勉強会へどんどん参加していきたい。
			(外部評価) 月1回、職員が集まり、ミーティングや勉強会を行っておられる。又、外部研修も職員の段階に応じて声をかけて、すすめておられる。職員は、最近「リスクマネジメント」の研修を受講され、「ヒヤリハット記録」の活用のお大切さを学ばれた。		さらに、事業所では、職員個々が年に1回は外部研修を受講できるよう、すすめていきたいと考えておられる。さらなる職員のレベルアップからケアの質の向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>ケアワーク勉強会へ参加し、サービスの質を高めるように取り組んでいる。</p>		<p>勉強会へ行く職員が決まってきているので、いろんな職員が参加していけるようにする。</p>
			(外部評価)		
			<p>日常的に系列事業所と交流をされている。又、包括支援センターの集まり時に、地区内のグループホームと交流する機会もあり、今後、事業所同士で行き来できるよう話された。</p>		
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>食事会やレクリエーション等で親睦を深め、個々の仕事の悩みや相談に応じ、なるべくストレスの軽減できるよう取り組んでいる。</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>評価すべき事は常に感謝を言葉に表し向上心を持って働けるよう努めている。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>常に本人の話に耳を傾け、困っていること、不安な事、求めている事を理解出来るよう努めている。</p>		<p>センター方式ケアプランを使用し、その人の過去や現在を知り、その人の立場に立った統一ケアをしていく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族と困っていること、不安に思うこと等を受け止め解決できるよう努力している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族がまず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた助言、相談を行い対応に努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にながら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人が徐々にホームに馴染んでもらえるよう、デイサービスやお試しステイを取り入れ、安心してサービスを受けてもらえるよう工夫している。 (外部評価) 入居前に事業所のショートステイを利用し、入居となった方もいる。これまでの習慣を事業所でも続けられるよう支援されている。又、「ちょっと行ってくる」と出かけられる方にも、止めることなく、見守り付き添うようにされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の特技・趣味等把握し利用者さんから教えてもらう機会を作っている。昔ながらの諺、行事など教わることが多くある。 (外部評価) 職員のGパンの繕いをして下さったり、時に職員に、働くことの大切さを教えてくださることもある。		就業間もない職員には利用者個々の状況を見極める事から取り組み、一方的な介護にならないよう指導している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 小さなことでも報告し家族と共に本人を支えていく関係を築いている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事、催しもの際には、案内の連絡を入れるようにしている。		お誕生日会・お花見・運動会・花火大会等
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 本人が馴染んできた場所や物を把握し現存しているものに関しては途絶える事がないように可能な限り支援している。		馴染みの美容院・お気に入りの場所
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関わりには制限することはないが、常に把握し孤立してる場合には傍に寄り添いトラブルがある場合は間に入るようにして支えるようにしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院中、あるいは他施設に移った利用者へも不定期ではあるが面会に行ったり連絡を取ったりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			利用者本人にさり気なく希望や思いを聞いて日常生活の中に取り入れられるよう、職員全員で話し合い対応している。意思の疎通が困難な方はご家族より話を聞き、それに沿うよう対応している。		
			(外部評価)		
			長期間、利用者とかかわっておられる職員の方は、慣れ合いや先入観を持って利用者にかかわらないことに気を付けておられる。センター方式のアセスメント表を用いて、利用者個々の思いの把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人、家族さんの情報をもとプロフィールを作成し職員全員が把握するようにしている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			記録日誌に細かく記録し変化があった場合の言動はすぐ分かるように目印をつけ、申し送り時に職員で話し合うようにしている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者本人と相談・話を聞きながら、職員全員でケアプランを作成。職員全員が把握できるよう1回ミーティングを開いている。 又、家族さんにも意見を求めプランに取り入れている。		
			(外部評価)		
			ご本人やご家族の希望や意見を聞きながら、介護計画を作成しておられる。		さらに、ご本人が「どのように暮らしたい」ということをもとに、ご家族にも具体的にご意見をいただけるような働きかけの工夫を、重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			状態変化のある時には、すぐに家族に連絡を取り説明・相談をしながら職員全員でケアプランの見直しをしている。		
			(外部評価)		
			3ヶ月毎の見直しと、状態変化に応じて随時の見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の個別記録には利用者の言葉を用い記録することでケアに反映させるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人・家族から要望があれば、外出・外泊でき、送迎や車いすの貸し出しも行っている。		
			(外部評価)		
			事業所では、「指定認知症対応型通所介護」「短期利用型共同生活介護」の指定を受けておられ、調査訪問時も2名、通所介護を利用されている方がおられ、利用者を散歩に誘われたり、優しく接しておられる姿がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を通じて民生委員の方と連絡を取ったり、回覧版で情報をもったり意見交換をしたりしている。警察や消防の方も招いて運営推進会議を開いたり、利用者の方を交えて避難訓練を行っている。		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ケアマネや、同業者が集まる会議などに参加し、いろいろな情報を得ている。そのような所で親交を深めなにかあれば相談し合える関係を作っている。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進会議の参加により、ホーム内の取り組みを理解してもらっている。情報交換が密に出来るようになり訪問したり訪問されたりする事が多くなった。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に主治医の希望を伺い、希望に添うようにしている。主治医は毎日往診に来てもらっているのでいつでも相談し合える関係にある。		
44		(外部評価) 認知症の専門医等の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の医師が毎日、利用者お一人ずつの往診に来られている。午前中に看護師の方が来られ、利用者個々の健康管理をされており、利用者は、直接、体調のことを相談されている。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者の状態を見ながら、家族とも相談した上で専門医に受診したり、相談できる関係を作っている。受診後はすぐに家族に結果を報告し、経過も伝えている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 24時間協力体制の確保が出来ており、毎日往診してもらっているため、何かあってもすぐに相談できる関係にある。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には職員が同行し本人の状況説明をしている。入退院時には協力医も関わり早期退院にむけての助言ももらうこともある。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人、家族、主治医の話し合いの機会を設けている。本人、家族の意向を大切にしそれに合った対応、医療機関、職員間で話し合い方針を共有している。 (外部評価) 看取りの支援について、ご家族の意向を聞き取っておられる。ご家族が直接、医師や事業所に相談することもできる。医師と事業所で話し合いを繰り返し、看取りを支援したような事例もある。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 何度も家族、主治医と話し合い「出来る事・出来ない事」を明確にした上で意向に添えるように支援したい。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 事前に面談に来てもらい、情報提供をするようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者一人一人の状態、性格を把握しそれに合わせ声掛けをしている。 (外部評価)		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者本人が納得できる言葉を選び説明し自己決定が出来るようにしている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者さんのペースに合わせた個別対応をしている。決めごとは作らず利用者同士で何をするか決める事もある。 (外部評価) 利用者の行動に沿って職員が動くこととされており、職員は「黒子」に徹しておられる。調査訪問時も、穏やかな雰囲気の中、職員の動きもさりげなく、利用者の希望や意欲を職員がサポートされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 更衣時には好きな色、柄などを選んでもらえる雰囲気作りをしたり、散髪も希望する場所があれば連れていけるよう支援している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理時には職員と一緒に台所に立ちお喋りしながら手伝ってもらったり盛り付けをしてもらったりしている。		いろんな人と交互にメニューを考えたり片付けをしていけるよう取り組みたい。
			(外部評価) 現在、朝食はパンとコーヒーを好まれる方が多くある。食中毒を防ぐために、食材は火を通すようにされている。又、食事量も、個々の健康状態等も踏まえ加減されている。		時に、ご家族も利用者と一緒に食事を摂るような機会を作る等、食事について、具体的にご意見をいただけるよう、工夫されてみてはどうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在、ご利用様に喫煙者はおらず対応していない。好みの食べ物は出来る限り本人さんに合わせて提供している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 状態に応じてオムツを使用することがあるが時間ごとに確認している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			最低週3回は入ってもらえるよう支援しているが、ご利用者さん自身の意思に添うようにしている。		入浴剤の使用
			(外部評価)		
			体調等も見ながら、入浴支援をすすめておられる。夏場はシャワーをされたり、脱衣所の温度等も気を付けておられる。		現在、入浴のお好きな方ばかりであり、温泉や足湯等、お風呂を楽しむための支援も、すすめていきたいと考えておられた。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			休息に関しては個々気兼ねなく居室へ行き休まれている。自ら訴えがない時には表情を見て声掛け誘導している。		居室の温度調節に気を付けていく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			生活歴を把握し本人の特技、仕事を考えお願いしたり、感謝の声掛けをしながら負担なく出来るようにしている。		
			(外部評価)		
			庭の草引きや水やり、事業所前の道の掃除や、食事の支度等、家事をされる方もいる。利用者同士で居室を行き来して、おしゃべりを楽しまれることもある。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			管理できるご利用者さんがいないため、お金は所持していない。		一緒に買い物に行きレジでのやり取りを楽しんでおられる方もいる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			常に利用者の希望を聞き、その上で散歩、ドライブ、買い物等に行くようにしている。		
			(外部評価)		
			おしゃれをされる方は、街にウインドショッピングに出かけたり、民謡のお好きな方は、CDで聞かれたり、地域の民謡発表会を聞きに出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			以前住んでいた所や良く通った趣味の場所を聞き本人の希望があれば職員間で話し合い出掛けられるようにしている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人が希望する時には、自分で電話を掛けられるように支援している。利用者が自分でダイアルする場合もある。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会時間の決めごとはず、いつでも来訪してもらえるようにしている。 おやつ、時には食事も一緒にして頂くこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 出来る限り拘束をしないケアをしているがご利用者さんの状態や、やむを得ない場合には家族に同意を得ている。ベッド柵等		長期間使用することのないよう、日々経過観察し職員間で話し合いをしている。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室には鍵を掛けておらず、玄関の鍵も日中は開けており、自由に出入りが出来るようにしている。 (外部評価) 玄関には鍵をかけず、網戸にしておられた。調査訪問時も、利用者同士で散歩に行かれる際、職員がそっと付き添っておられる様子がうかがえた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ホームの奥行きがあり居室にこもっていると中々目が行き届きにくい事もあるが職員が居室にお邪魔したりして様子を把握している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険だと思われるものは職員と一緒に使用したり、居室で使用する場合でも職員へ使用後返してもらえるよう声掛けしている。		ご利用者さんの持ち込み物品でもすぐに取り上げたりする事なく職員が把握し事故のないようにしていきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員間で利用者個別のリスクを話し合い防ぐための工夫をしている。事故が起こった場合は、ひやりはっと事故報告書を作成し職員間で防止策を考え話し合っている。		ひやりはっとの活用

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを作り会議で確認している。定期的には訓練は行えていないが、他事業所等で勉強会がある時には参加させてもらっている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 推進会を開いたときに、消防署員を招き近所の方を交えて避難訓練をしている。 避難場所や方法を指摘、指導してもらっている。 (外部評価) 運営推進会議で避難訓練を行われた。避難場所の確認をされた。		参加していただいた方に喜ばれ、定期的開催していきたい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクについてはご家族に説明し承諾を得ているがミーティング等の話し合いで職員間でも対策を練っている。		抑圧することのないよう、今後も対策を練っていく。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 小さな変化でも職員間で報告している。 判断できない場合、管理者へ指示を仰いだり、主治医に相談したりしている。		既往歴の把握することにより、急変時の迅速な対応につなげていけるよう努力したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の服用している薬の処方箋はファイルにとじ、いつでも目を通せるようにしている。服薬時には手渡しにて確認している。		服薬が変わった際には、申し送りを徹底し職員の周知を行っている。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維の多い物を多く摂るようにしたり牛乳を飲んだり腹部マッサージをするなどしている。		便秘予防の知識を深め取り組んでいきたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 自立の方には声掛けで促している。介助の必要な方へはおろそかになっている。		介助の必要な人にもうがい等出来る事で促していく。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 無理強いする事無く、食事作りでも水分を多めに炊く等水分の摂れるよう工夫している。 また、むせ込の多い人にはトロミをつけ、水分を摂れるようにしている。		ゼリーを作っている。
			(外部評価) 食事には必ずお汁を付けて、水分摂取に心がけておられる。又、やかんをテーブルの上に置き、いつでも飲めるようにされている。職員は、細やかに声をかけ、お茶をすすめておられた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作成し対策している。食品も必ず火の通したものを出している。		手洗い、消毒の施行

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材は必ず火の通したものを使っている。 包丁、まな板の日光消毒。 保健所からの食品管理の研修		ハイタ 使用
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入口の門を開放したり、玄関前へベンチを置いている。		庭や玄関周りの掃除を職員と一緒にしたりしている。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 窓も大きく自然の光を取り入れる事が出来ているが季節感のある植物が少ない。		季節感のある植物を取り入れていく。
			(外部評価) 下駄箱の上に装飾品、壁には絵を飾る等、一般家庭のようなしつらえとなっている。ご家族等からいただいた造花も飾っておられた。		事業所は新しい場所に移転され、共用空間内の手すり等の使い勝手も、利用者の様子を見て工夫したいと考えておられる。又、庭に季節の花を植えたり、プランターで野菜を作ることも検討されていた。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 談話室にもソファや椅子を置き、個々で自由に動いてもらっている。 利用者同士で居室へ帰る事もある。		ソファや椅子の位置を変えてみたりする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自宅にあるものを置いてもらったりご両親の方の写真を飾っている。		本人の希望するようこまめに部屋の模様替えをしている。
			(外部評価)		
			ベッドや床に布団を敷く等、利用者の好みに合わせられるようになっている。窓を開け放ち、風通し良くされていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			天気の良い日には換気を徹底している。 季節柄、室温を調節し熱射病にも気をつけている。		温度計を設置するなど今後も室温に気をつけていく。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			出来る限り自由に動いてもらえるよう必要な場所には手すりをつけている。		自由に動いてもらうことで、危険である部分、場所を見つけ工夫していく。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			戸惑っている事には手助けし、わからない事にはわかるよう説明し混乱することのないようにしている。		場所がわからない所へは大きく標示するようにする。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			移転し庭が広く使用できるようになった。 ベンチを設置し好きな時に座り周りの景色を楽しめるようにしている。		玄関前にほうき、ちりとりを置いている。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② ほぼ全ての利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんど掴んでいない	毎日の会話の中で本人の思いや願いを聞くようにしている。意思疎通の困難な方はご家族からの情報や表情で思いをくみ取り、ご家族、職員と相談しながら支援している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	談話室で一緒にお茶を飲んだり、お喋り、音楽鑑賞をしたりと毎日くつろぐ時間を作っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	特にホームの中での決めごとを作っていないので、無理強いする事無く個人のペースに合わせた。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの性格や好きな物、嫌いな物を職員が把握し声掛けの工夫により笑顔や会話がみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	可能な限り、本人の希望する所へ出掛けている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医がほぼ毎日往診に来ていることにより安心している。変化があれば、24時間対応できる体制をとっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人ときちんと向かい合い納得し安心するまで支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時以外にも何かあればすぐに電話連絡をし、ご家族の要望を聞いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	近隣の方の来訪が多くみられるようになった。町内行事への参加も多くなり顔なじみの人が増えている。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	2 ヶ月に 1 回の推進会議の他、地域の行事に参加し、理解・応援してもらっている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の 2 / 3 くらいが 3 職員の 1 / 3 くらいが 4 ほとんどいない	職場以外でも食事会やカラオケ、スポーツ大会等に参加しコミュニケーションを図っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の 2 / 3 くらいが 3 利用者の 1 / 3 くらいが 4 ほとんどいない	毎日絶えず笑顔が見られる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の 2 / 3 くらいが 3 家族等の 1 / 3 くらいが 4 ほとんどできていない	家族会、電話連絡等で要望を聞き対応できている。感謝されることが多々ある。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者さんが行ってみたい所、してみたい事、どんな小さい事でも話を聞き希望に添えるように取り組んでいます。
 民家改修型の、アットホームなグループホーム。地域の人達とさり気なく会話を楽しんだり、気楽に挨拶ができ、『紫竹庵』が交流の場となるような雰囲気作りを心掛け、目指していきます。